《第１４９回那覇市小学生バレーボール大会運営規定》

【競技上の確認事項】

＜大会日程＞
①１１月８日（日）　会場：那覇市民体育館
７：００　コート設営　※各チーム２名参加願います。
８：００　各チーム集合
　※各チーム駐車台数を守って下さい
８：１５　チーム受付・監督ミーティング
８：３０　開会式
９：００　第一試合開始予定
第一試合以降は追い込み方式
※運動会のあるチームにおいては終了後参加ください（１４：００頃）

②１１月１５日（日）　会場：首里地区
８：００　体育館会場・チーム集合　選手/保護者は待機場所へ（父母・選手ともに靴は袋に入れ持参
８：１５　チーム受付・監督ミーティング
８：４５　第一試合開始予定
※以降は追い込み方式で試合進行下さい
（決勝戦終了後）　閉会式開始

＜競技規則＞
　令和８年度（公財）日本バレーボール協会の定める６人制競技規則による。
　但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。また、本大会特別規則を採用する

＜競技方法＞
① 男子ブロック（A／B）、女子ブロック（A／B）、男女混合ブロック（A／B）で行う。
② 男子・女子・混合：予選リーグ、決勝トーナメントを行う事とする
③ 試合はすべて３セットマッチとする。
　各ブロック３セットマッチ２１点のラリーポイント制を採用し、２セット先取とする。
　３セット目は１５点制とし、デュースの際は、全セット２点差がつくまで行う事とする
④ 本大会においてもセーフティタイムアウト（ＳＴＯ）を適用する。
　第１、２セットでは、リードするチームが１１点に達したとき、
　第３セットはリードするチームが８点目に達したときに適用する。
　デュースが続く場合、第１，２セットは両チームが、２５点に達したときに適用し、
　その後は両チームが７点ずつ積み重ねた段階で適用する。
　第３セットは両チームが２１点に達したとき、その後は両チームが７点ずつ積み重ねた段階で適用する。
　※ＳＴＯは水分補給のみならず、健康管理も行うようお願い致します。
⑤ 第２試合以降の開始時刻は簡易ＩＦ記録終了後１０分後に試合開始とする。
⑥ 試合は追い込み方式で行い、連続試合の場合は、最大１５分の休憩をとる
　※１５分のインターバル取り扱いは、各チーム監督責任の下、休憩又は練習の判断をする。
⑦ 試合が終了したチームは速やかにコートを空ける事
　次の試合のチームは迅速に当該コートに集合し、以下の事を行う
　・ラインナップシート、得点掲示用チームプレートを審判員に提出
　・予選～決勝戦まで全て３**分間打ち合い（簡易ＩＦ）**

＜参加規程＞
-チーム編成-
① チーム編成は、監督１名、コーチ２名、マネージャー１名、選手１４名以内とする
　但し、監督は必ず成人である事とする
　　※複数チーム参加の場合、監督は２チーム以上の監督の重複はできないがスタッフ登録は可とする
② 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に1人以上いること。
-エントリー変更-
　参加申込書に記載された選手の変更（背番号の変更・誤字の訂正）に関しては初日の８時３０分までに、
　チームスタッフは１～２日目それぞれ監督ミーティングまでに、エントリー変更届けにその旨記入し、
　各会場の競技委員長に提出し、承認を得ること。それ以降の変更は認められない。

-服装-
① 単独チームの選手のユニフォームは同一の物を着用し、背番号は１～９９番とするが競技運営上１～１４番が望ましい。
　男女混合チームは背番号が同じにならないように、かつ、分かりやすいように各チームのユニフォームを着用して下さい。
　混合チームのユニフォームは、相手チーム・観客・レフェリーから見て明瞭に男女の区別が できるように
　男女のユニフォームのカラーやデザイン面に注意する事 。
　※チームに配慮の必要な選手がいる場合、事前に競技委員長へご相談下さい。
　※１３番以降はゼッケン・ビブスの着用も可とする
　※ハチマキの着用は、チームで揃えなくてもよい（ヘアーバンドと同じ扱いとなります）
　※アンダーシャツについてはユニフォームと同系色であれば個人で着用可とする。
② 単独チームの監督・コーチ・マネージャーの服装は、統一された物を着用する事とし、シューズを履くこと
　但し、マネージャーが児童の場合はこれの限りではない
　※スタッフの服装の統一とは、襟の有無は問わない（Ｔシャツでも可）、長ズボン同系色に揃えることをさす。
　※ベンチスタッフのシャツのイン・アウトはどちらでも良い。（但し、だらしないのはＮＧ）
　選手についてはインすること（安全面・盗撮防止の為）
③ 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸部に着用すること

-大会使用球-
① 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量４号球カラーボールを使用する
「ミカサボール(MVA500) ・モルテンボール(V4M5000-L)」(円周６２～６４㎝重量２００～２２０g)
※ ボールの内圧については、６人制競技規則に準じ、２９４．３～３１８．８２ｈＰａ内、３１５．０ｈＰａとする。
② 本大会は男子・混合ブロック：ミカサ/ 女子ブロック：モルテン

-順位の決定方法-
① 勝率 （勝数の多いチーム）
② セット率 （全試合の取得したセット総数／全試合の喪失したセット総数）
③ ポイント率（全試合の総得点／全試合の総失点）
④ ②-③が同率の場合は、１５点１セットの直接対決を行う。
※四角リーグにおいては、①－③にかかわらず直接対決の勝敗を優先する

-各試合会場におけるコートでの練習について-
① 各会場ともコートの準備ができ、競技委員からのアナウンスがあるまでフロアに入ることはできない
② 前試合が終了し、ベンチ・コートが空いている場合は練習可とする。
但し、隣のコートで試合中の場合は、試合進行の妨げにならないよう管理すること。
③ 予選～決勝戦まで３分間の打ち合いとする。
④ フロア以外でのボールを使った練習は、建物内外にかかわらず絶対禁止とする
また、屋外でのアップの際は外履き用の靴に履き替えること

-審判員-
① 大会１～２日目共に主審・副審はチームスタッフから出す事とする
③ ラインズマン・点示係・記録係は各チームから出すこと
※ 状況に応じて、審判委員長の指示のもと日本バレーボール協会公認審判員が配置される。

-その他-
① 試合前の挨拶については、ネットをはさんで対戦相手と握手をする。
※感染症状況により変更あり
※監督は、試合終了後に審判と握手をしてください。
② ベンチには、競技上必要な飲料水・救急用具以外の物品を持ち込まない。また、飲料水は床にこぼさないよう注意する事
水筒は、ワンタッチ式の蓋つき水筒、ペットボトルでも可とするが、会場によって不可の場合あり。
但し、空調施設のない小学生会場は、うちわ・電動ハンディーファンの持込みを認める。
※クーラーボックス・キャンプカートは使用禁止。
※スマートウォッチは、時計として使用は可（通信機器やカメラとしての使用は禁止）
③ 応援団の応援旗及び横断幕は試合のあるチームのみが掲示し、その際にプレーに支障のないように配慮する
試合終了時には迅速に撤去し、次のチームに場所を譲る事
応援団の応援用具は大きな音の出る鳴り物(太鼓・ベル・ペットボトル等)は禁止とする
※審判のホイッスルの邪魔にならないように配慮する事
④ 審判やラインジャッジへの批判・暴言は絶対禁止。
⑤ 選手への暴力・暴言・威嚇等の行為は、絶対禁止。
⑥ 応援者（ギャラリー等）から選手への指示は出来ません。
※上記事項を各チームの指導者は十分考慮すると同時に、各チームの応援団（父母会）への指導を徹底する事
⑦ 各チームは、ネームプレートを持参する事
但し、２日目に出場するチームは得点掲示用のネームプレートを２枚用意する事
⑧ 各チームは、ボール拭き用のタオルを持参する事